

令和4年度 定時総会

日 時 令和4年 6月28日(火) 15時 45分～
場 所 認定NPO 法人ポラーノ 3F 会議室

認定NPO 法人 ポラーノ

2022年6月28日

2022年度総会を迎えて

認定NPO法人 ポラーノ
理事長 松村 公市

認定NPO法人ポラーノは、今年度に設立20周年を迎えることとなります。

バブル崩壊の時期に、税収不足が原因でのスポーツ施設の急速な劣化を危惧し、公園・スポーツ関連の仲間が集いました。スポーツ施設や緑化を守るためにはどうすべきかを話し合う中で、施設の運営管理に民間企業やNPO法人も参入できる事が法制化され、指定管理者制度が施行されることとなりました。故川村毅先生に理事長を就任いただき、広島県総合グラウンドの指定管理者の指定を受けることが、当法人が目指す「スポーツ施設を守ること」「スポーツそのものを守ること」につながり、そして、スポーツの振興・普及・強化に貢献することができる法人としてのスタートを切ることにつながりました。その後、指定管理者制度もビルメンテナンス企業を始めスポーツ用品メーカーや関連企業等の参入が拡大し、当法人の指定管理者として指名を受けた公園も最多時には8公園ありましたが、現在では3公園となりました。ポラーノとして使命を果たす場所が少なくなっているのが実情ではありますが、NPO法人であるからこそ出来る運営管理がこれからも求められていくことは間違いありません。スポーツの振興・普及・強化だけでなく「地域の誇りとなる公園づくり」を地域住民とともに目指し、これまで以上に必要とされるNPO法人ポラーノになることが、これからの当法人の使命と考えます。

そして、指定管理事業の不安定さをカバーする事業として大きな役割を担う事になった福祉事業も、2020年度・2021年度連続の赤字を脱却し、経営の安定に貢献してくれました。本来の目的である「障害を持つ利用者の成長目標を果たす」ことについては、昨年度も達成することができ、一般就労に4名もの利用者を送り出すことができました。また、就労定着支援事業所の【ジョブサポートネモフィラ】設立により、安定した継続就労への道筋ができたところです。今年度は、福祉事業部の3事業所がなお一層の障害者就労者支援の模範事業所として、社会から評価を受けることになると確信しております。

経営の安定が見えて参りましたので、ポラーノの新たな取り組みをスタートさせたいと考えております。当法人が「認定を受けているNPO法人」であることについて、会員の皆様にも十分に説明できていないことが現在の課題ではあるのですが、ポラーノは「個人・法人寄付者に対して税金上の優遇措置が設けられているNPO法人」であり、認定制度を利用した新たな財源を確保することで、スポーツ・福祉などの既成事業をより進化させると共に、20周年を迎えることを踏まえてポラーノらしさのある新たな事業を発表できればと考えているところです。

今年度はポラーノにとって20周年という節目の年度になりますが、予測できない時代を生きる中で「今すべきことを今する」法人となり、社会の課題を解決でき、事業を継承できる法人として成長出来るように努力して参ります。最後になりますが、今後も、皆様からのさらなるご支援とご協力をお願いし、御挨拶とさせていただきます。

次 第 (令和4年度)

- 1、 開会
- 2、 理事長挨拶
- 3、 議長選出
- 4、 議事録署名人選出
- 5、 議事
 - 第1号議案 令和3年度事業報告について ... 1～6
 - 第2号議案 令和3年度決算報告について ... 7～12
 - 監査報告 ... 13
 - 第3号議案 令和4年度事業計画(案)について ... 14～15
 - 第4号議案 令和4年度活動予算(案)について ... 16～17
 - 第5号議案 役員改選について ... 18
 - 第6号議案 定款変更について ... 19
 - 第7号議案 その他
- 6、 永年勤続表彰
- 7、 閉会

【第1号議案】

令和3年度 事業報告
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

認定NPO法人 ポラーノ

1. 事業の成果

法人の目的である「公園や緑地を利用したまちづくり活動事業」は、指定管理者事業を通して一定の成果を上げているところです。今年度も、コロナ下禍での海田総合公園・三原運動公園・庄原総合公園は厳しい運営となりましたが、コロナ禍での利用者サービスの充実と、コロナ感染症への最大限の対策・配慮をすることで、利用者の安全・行政との協働を果たす事が出来ました。福祉事業部は、A型事業所「ジョブスガーベラ」の運営が軌道に乗り、経営改善を果たすとともに、一般就労に4名を送り出しました。一方、定着就労支援事業所「ネモフィラ」の設立・運営により、定着支援を図る事に取り組み、新規就労場所での利用者のサポート体制が確立したことで、なお一層の一般就労への道筋を作る事になりました。庄原上野総合公園・三原運動公園の指定管理は、JVで5年継続指定となり、これまでのノウハウをより発揮することを期待されています。

2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数(累計)	受益者の範囲及び人数
地域の公園緑地、文化及びスポーツ施設を利用する活動を支援する事業	外木場バッテリー育成塾 呉編	中止	呉市二河 屋内練習場	-	-
地域の公園緑地、文化及びスポーツ施設を利用する活動を支援する事業	カープOB野球教室	11月3日	やまみ 三原運動公園	7人	140人
地域の公園緑地、文化及びスポーツ施設を利用する活動を支援する事業	少年球児編	11月20日	庄原市上野 総合公園	5人	34人
地域の公園緑地、文化及びスポーツ施設を利用する活動を支援する事業	カープOB野球教室	11月23日	海田総合公園	10人	100人
地域の公園緑地、文化及びスポーツ施設を利用する活動を支援する事業	水辺のコンサートの開催	春は中止 10月31日	原爆ドーム 南側河岸緑地	7人	不特定多数
地域の公園緑地、文化及びスポーツ施設を利用する活動を支援する事業	ウォーキング大会	4月・2月 中止	やまみ 三原運動公園	2人	120人
地域の公園緑地、文化及びスポーツ施設を利用する活動を支援する事業	ポラーノピッチング教室 2021'三原編	7月～ 8月	やまみ 三原運動公園	8人	35人
地域の公園緑地、文化及びスポーツ施設を利用する活動を支援する事業	池の生き物観察隊	7月28日	海田総合公園	10人	100人
地域の公園緑地、文化及びスポーツ施設を利用する活動を支援する事業	ソフトテニス中学生ポラーノ カップ ポラーノカップ	11月 2月	海田総合公園	中止	中止
地域の公園緑地、文化及びスポーツ施設を利用する活動を支援する事業	硬式テニスポラーノカップ	5月 12月9日	海田総合公園	中止 1人	中止 26人
地域の公園緑地、文化及びスポーツ施設を利用する活動を支援する事業	レッツエンジョイ スポーツ・芝生で遊ぼう	中止	庄原市上野 総合公園	-	-

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数(累計)	受益者の範囲及び人数
地域の公園緑地、文化及びスポーツ施設を利用する活動を支援する事業	写真コンテスト	8月 中止	やまみ 三原運動公園	-	-
地域の公園緑地、文化及びスポーツ施設を利用する活動を支援する事業	レッツエンジョイ スポーツ・芝生で遊ぼう	中止	庄原市上野 総合公園	-	-
地域の公園緑地、文化及びスポーツ施設を利用する活動を支援する事業	しょうばら里山 ふれあいウォーキング	中止	庄原市上野 総合公園	-	-
地域の公園緑地、文化及びスポーツ施設を利用する活動を支援する事業	レッツエンジョイ スポーツ・芝生で遊ぼう	10月 中止	やまみ 三原運動公園	-	-
環境保全に関する各種の調査及びコンサルティング事業	ソフトボール教室	2月 中止	やまみ 三原運動公園	5人	100人
芝生の製造及び供給に関する事業	サッカー教室	3月20日	やまみ 三原運動公園	2人	36人
地域の公園緑地、文化及びスポーツ施設を利用する活動を支援する事業	芝生の製造及び供給	4月1日～ 3月31日	ワークハウス クローバー	100人	不特定多数
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業	ドラワン塾	4月1日～ 3月31日	ドラワン塾	250人	年間延べ人数 2,068人
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業	障害者就労継続支援 B型事業所 ワークハウスクローバー	4月1日～ 3月31日	ワークハウス クローバー	72人	年間延べ人数 2,846人
文化及びスポーツ施設の運営・管理に関する事業	障害者就労継続支援 A型事業所 ジョブース・ガーベラ	4月1日～ 3月31日	ジョブース・ ガーベラ	72人	年間延べ人数 2,545人
文化及びスポーツ施設の運営・管理に関する事業	やまみ三原運動公園 指定管理事業	4月1日～ 3月31日	やまみ 三原運動公園	1,200人	年間延べ利用者 数 70,123人
文化及びスポーツ施設の運営・管理に関する事業	庄原市上野総合公園 指定管理事業	4月1日～ 3月31日	庄原市上野 総合公園	1,200人	年間延べ利用者 数 19,117人
文化及びスポーツ施設の運営・管理に関する事業	海田総合公園 指定管理事業	4月1日～ 3月31日	海田総合公園	1,200人	年間延べ利用者 数 152,043人
文化及びスポーツ施設の運営・管理に関する事業	スポーツ施設管理運営	4月1日～ 3月31日	広島県内	3,600人	年間延べ利用者 数 241,283人
文化及びスポーツ施設の運営・管理に関する事業	他施設友好ポラーノグループ との共催事業	4月1日～ 3月31日	中四国地区	100人	年間延べ利用者 数3,000人